おごせ教育 Pick up

越生小学校

7月16日（火）、3～6年生が「ネット安心安全講座」を行いました。KDDI株式会社の担当の方を講師に迎え、インターネットやスマートフォン、個人情報の扱い方等を発達段階に合わせて授業をしていただきました。奇数学年が音楽室で、偶数学年が各教室と音楽室をオンラインでつないで行いました。児童は、真剣な表情で話を聞いていました。

梅園小学校

7月18日（木）の給食最終日に2年生は、学校給食に使用する「とうもろこし」の皮むきを行いました。1本目は、皮をむく（ひげの部分）のに時間がかかっていましたが、2本目、3本目とだんだんと速くなり、みんなで協力してむくことができました。

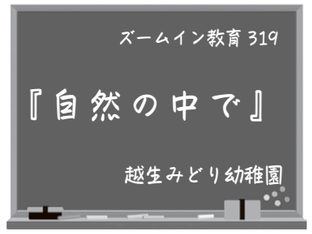
越生中学校

7月10日（水）に越生町役場関係各課の皆さんのご協力により、「おごせまなび亭」講座を実施しました。越生中ふるさと教育の一環で、「越生町の長期総合計画のあらまし」と「災害にそなえて」についてオンラインで学習しました。この学びを今後のふるさと教育につなげていきます。

おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。

幼稚園の周りにはさくらの山、大観山など自然がたくさんあります。幼稚園では日々の保育の中でお散歩に行き、自然と触れ合う中で子どもたちが心を開放し、夢中になって遊んでいます。また、春には桜、初夏には紫陽花、秋には紅葉やイチョウ、冬には椿などを見ながら季節の移り変わりを肌で感じることができます。



【食育】

毎年、幼稚園の畑で年長組が夏野菜を育てています。今年は、トマト、キュウリ、ナス、トウモロコシ、ピーマン、えだまめなどです。手作りのペットボトル型じょうろを持って、みんなで水やりに行きます。毎日のように立派な野菜が収穫でき、嬉しそうに持ってきてくれます。収穫できた野菜は、幼稚園で調理し、お昼に食べますが、みんな大喜び！野菜が苦手な子もよく食べています。バケツで稲も育てていて、毎日観察をし、お米ができるのを楽しみにしています。

越生浪漫 No.187

明治初期の地誌調査「武蔵国郡村誌」

明治政府は全国の歴史や地理を把握するため、明治8年（1875）6月に「皇国地誌編輯例則并着手方法」を各府県に通達しました。当時の埼玉県（足立郡・埼玉郡・葛飾郡・下総国葛飾郡）と熊谷県（入間郡・高麗郡・比企郡・那珂郡・新座郡・横見郡・秩父郡・児玉郡・賀美郡・大里郡・男衾郡・榛沢郡・幡羅郡）で郡志と村志の編さんが開始されました。収録項目は、郷庄領、境域、幅員、管轄沿革、里程、地勢、地味、税地、飛地、字地、貢租、戸数、人口、牛馬、舟車、山川、川堀、森林、道路、堤塘、神社、仏閣、役場、学校、電線、古跡、物産、民業等で、地誌編さんについては各郡村の正副区長や戸長（村長）が草案の執筆に当たり、県地誌編集担当が現地調査に入って進められました。当町には明治14～16年にかけて上谷・堂山・津久根・成瀬・西和田・上野の戸長が記した草稿がのこされています。

埼玉県では郡誌17巻、村誌103巻を提出しましたが、事業は中止され実現しませんでした。また各府県が提出した郡村誌は大正12年（1923）の関東大震災で大部分を焼失してしまいました。

戦後の昭和23年（1948）、県庁の倉庫から郡村誌の副本が発見され、同28年に『武蔵国郡村誌』として翻刻・刊行されました。紆余曲折を経て世に出された言わば県撰の地誌です。

行政区	明治９年１月１日			令和６年１月１日		
	人口	男	女	人口	男	女
越生村（現大字越生・越生東）	521	259	262	3,254	1,644	1,610
上野村（現大字上野・上野東）	664	322	342	2,588	1,259	1,329
如意村	228	109	119	719	366	353
和田村（現大字西和田）	222	118	104	696	340	356
大谷村	290	139	151	211	101	110
鹿下村	215	108	107	303	157	146
古池村	201	93	108	206	98	108
成瀬村	229	128	101	385	193	192
黒岩村	215	94	111	504	251	253
津久根村	229	95	134	249	118	131
小杉村	275	199	176	504	251	253
大満村	290	145	145	357	178	179
黒山村	332	164	168	262	141	121
龍ヶ谷村	253	130	123	125	65	60
麦原村	304	153	151	84	46	38
上谷村	353	173	180	258	119	139
堂山村	100	44	56	175	87	88
合　　計	5,011	2,473	2,538	10,863	5,414	5,449

▲明治期「武蔵国郡村誌」との男女別人口比較表

明治期の物産
繭、生絹、太織、生糸、団扇
鶏、鶏卵、繭、米、大麦、小麦、大豆、小豆、あわ、ごぼう、稗、蕎麦、芋、すずしろ、生太織、生絹
繭、米、大麦、小麦、大豆、小豆、裸麦、粟、稗、蕎麦、もろこし、太織糸、綿、木綿白、絹、藁むしろ、藁縄、炭、雑真木、薪そだ
生絹、生太織
繭、鶏卵、生糸、生絹、生太織
（記載なし）
楮、生絹、太織、熨斗糸、炭、真木、薪
（記載なし）
繭、鶏卵、桑、薪、生糸、生絹、生太織
石灰、生糸、生絹、箪笥錠前、雨戸、障子、檜角尺、炭
生絹、生太織、薪、炭、材木、清酒
米、もち米、大麦、小麦、桑、繭、生絹、大豆、粟、雨戸、障子、杉板、檜角尺、杉角尺、杉皮、炭
生絹、製茶、密柑、枇杷、柚子、木炭、杉檜角尺、杉さわら板、材木
炭、材木、生絹、生太織
密柑
米、大麦、密柑、梅、炭、薪
梅、薪、炭

▲各村の主要な物産「武蔵国郡村誌」による